

令和7年（2025年）1月24日外部評価実施
中央地域包括支援センター（中部圏域）

「評価結果の概要」

センターが把握している圏域の特徴 2024年12月1日現在

【圏域の人口等】

圏域人口：56,744人
高齢者人口：13,945人
高齢化率：24.6%

【圏域の地域特性】

公共交通機関や生活関連企業が整備されているため、利便性が高く、高齢になっても生活がしやすい地域です。どの校区も地域活動が活発に行われ、民生委員・児童委員、校区福祉委員等地域関係者と地域包括支援センターとのネットワークも構築されています。

高齢世帯は微増ですが、団塊の世代が年々後期高齢者となっており、高齢者人口における後期高齢者の割合は60%、独居世帯の割合は63%となり、超高齢化、単身化が顕著となっています。とりわけ、築年数の古いマンションや南桜塚校区の府営住宅、泉丘校区のUR団地では、棟内での高齢化が進行していますが、戸建て住宅と違い生活実態が把握しにくいいため、近隣トラブル等で問題が発覚することが課題となっています。

高齢者の増加により、生活関連企業や介護施設などで、地域の高齢者を見守り支える意識が高まっており、これを強みに、新たなネットワーク構築につなげていきたいと考えています。

【医療・介護資源】

クリニック等医療機関は多数ありますが、鉄道駅周辺、商店街、幹線道路沿いと偏っており、泉丘校区や熊野田校区からは利用できる医療機関が限られています。また、精神科、心療内科の数が少なく、新規での受診予約に時間がかかっています。検査や入院のできる病院が少なく、圏域内の高齢者のほとんどは圏域外の医療機関に入院す

ることになります。介護サービス事業所は多数あるものの、人員不足で規模を縮小する事業所や廃業される事業所もあります。有料老人ホームは複数あり、地域貢献にも意欲的に取り組んでいただいておりますが、部屋代や一時金が高額であるため入所できる方は限られています。住み慣れた地域や環境を大きく変えたくない高齢者を支援できるよう、様々な医療機関・介護事業所の情報を収集し、連携を深めていきたいと考えています。

【その他】

令和6年3月、運営法人の移転に伴い、本センターが地域共生センター西館へ移転しました。

取り組み方針や特徴

【センターの運営方針】

複雑化、深刻化する課題に対応すべく、三職種の専門性の向上を図り、関係機関と連携し多職種協働で支援を行い、地域包括ケアを推進します。

【特に力を入れて活動している点】

各校区に専任の担当者を配置し、民生委員・児童委員、校区福祉委員の会議や、各校区の福祉なども相談窓口に出向き、地域住民から気になるケースや、地域が抱える課題についての情報を得るようこころがけています。また、各校区で開催される「サロン」や「敬老の集い」等地域活動の場に参加し、関係性がより深まるように努めています。

地域包括支援センターの認知度は高まってきているものの、その取り組み内容については十分に周知されていないことから、日頃の活動の様子や、イベントの開催案内をFacebookにて発信し、市民や関係機関に向けてPRを行なっています。(63回更新)

【活動の中での課題やその解決策】

高齢者本人に問題がなくても、家族が発達障害や精神障害等の理由で引きこもってい

たり、生活困窮のため高齢者の年金や預貯金で生活している世帯の支援が増えています。地域包括支援センター単独の支援では解決が難しいケースに対しては、速やかに関係機関と連携を図り、多職種協働で支援にあたっています。

また、発達障害や引きこもり等については、地域関係者から「心配だがどのように関わっていいかわからない」という声を聞きます。そこで、高齢部会において、中央障害者相談支援センター職員による研修を行う予定にしています。

総評

【特徴的な取組内容】

- 高齢者の主体性を引き出す工夫では、圏域内のインフォーマルを主体とした社会資源、集いの場等の情報を幅広く掲載した、独自の「介護予防おでかけマップ」を作成し、配布することで、介護予防につながる能動的な参加につながられています。
- 高齢者が自分らしく生きるための、自己決定を促すために、独自に作成された「終活すごろく」を活用し、楽しみながら参加し、理解・啓発にもつながるよう工夫されています。
- 認知症本人やその家族の視点、意向に寄り添った事業推進を図るため、本人発信の機会として当事者が語り、情報共有・情報交換を行える「本人ミーティング」が開催されており、先行的な取組みをされています。

【さらなる質の向上の余地がある点】

- 高齢者の自己決定支援に注力されていますので、さらなる向上に向けて、高齢者自身が、自分事として受け止め、メリット・デメリットを実感できる、伝え方・啓発の工夫拡充に期待します。